

くすりと健康のはなし

薬包紙

第60回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
副会長 棚瀬 友啓

みなさん、普段から何でも相談できる「かかりつけ薬剤師」を決めていますか？

最近、よく耳にするなあ、調剤薬局で何かサインをさせられたよなあと感じられた方も多いと思います。

年齢を重ねると病気も多くなり、たくさんのお薬を服用することも珍しくはありません。朝はちゃんと飲めているのに昼、夕食後はついつい飲み忘れてしまっている。大きな錠剤やカプセルは飲みにくいから飲んでない、健康食品は安全だから通販で買って飲んでいる。という方が大変多いいらっしゃいます。

今の薬剤師は「ちゃんとお薬を飲んでくださいね」で終わりません。飲み忘れが多くなってきてる。他の医院でも似たお薬が出ている。一緒に飲んではいけないお薬や健康食品を使っている。などを処方した医師に連絡することも欠かしません。みなさんのお宅に伺つたり、地域の集まり「わいわいカフェ」薬剤師さんに聞いてみよう！」を開催してお薬の保管方法、残つてあるお薬の整理、飲み忘れを防ぐために、飲むタイミング毎に1つにまとめる「包化」や1

くすり屋「東奔西走」



週間分を朝、昼、夕のポケットにセットする「お薬カレンダー」、「お薬ボックス」などの紹介、お薬が飲み込みにくい時にはラムネ菓子のように唾液で溶けてしまう（口腔内崩壊錠）OD錠の紹介など、おひとりおひとりに合った方法を考え提案をいたします。さらに、保育園入園前見とそのお母さんたちの憩いの場である支援センターへ出向いて、身近な先輩ママ薬剤師たちが親切丁寧に相談に応えてくれる「ヤングママお薬相談会」を開催しています。

あなたのまわりにも、地域が求めるものを探しに走る「走る！」薬剤師がいます。お薬を安全・安心に使用できるよう、いつでも気楽に相談できる頼りになる薬剤師を探してどんどん活用しましょう。

「大丈夫ですよ」いつも、私たちがここにいます。

でも、私たち薬剤師は地域みなさまのおそばにいます。